2025健康白書

(2024年4月~2025年9月)



安全健康推進部 健康推進グループ 2025年10月

愛三工業の健康経営

当社は「持続的な成長を実現していく上で、社員や家族の心身の健康は重要な経営資源、企業活力の源泉である」との考えに基づき2018年6月に「健康宣言」を制定。健康保健組合・労働組合と共に、健康経営を推進してまいりました。
2025年3月には、健康経営優良法人ホワイト500に7年連続で認定。また今年は初めて健康経営銘柄にも選定されています。

愛三グループの健康経営推進方針

従業員がイキイキと輝き働きがいを感じ続けながら活躍できる企業を目指す。

「健康経営目標」

愛三工業は 3つの柱(人財変革・多様な人財活躍・風土改革)を支える

安全安心な職場づくりを目標に、人的資本経営の基盤となる健康経営を推進します。

代表取締役社長

野村得之



安全健康経営役員 山本 尚之

自らの健康に高い意識を持ち、「健康チャレンジ活動」を積極的に推進し、地域・社会へ貢献できる企業を目指します。

健康経営の推進体制

健康経営推進体制

最高責任者/代表取締役社長 経営会議 安全健康経営役員 事務部門 安全健康推進部 • 産業医 技術部門 -保健師 •看護師 生產技術部門 · 臨床心理士 産業カウンセラー 工場 環境整備 コラボヘルス 情報共有•協議 健康保険組合 労働組合

代表取締役社長を最高責任者としながら、安全担当執行幹 部職および産業保健スタッフ等が在籍する事務局である安全 健康推進部を中心に健康保険組合・労働組合と共に、従業 員の心身の健康の維持・増進、疾病の未然予防対策に取り 組んでいます。

従業員の行動変容に繋がる情報展開・施策導入を継続し、 会社の健康風土醸成を感じながら、継続した健康経営を推進、 グループ会社と共に、地域・社会への貢献を目指します。

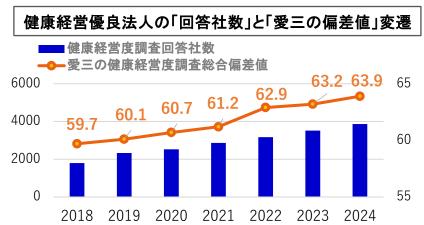


TOPIC.1

これまでの取組みが評価に!健康経営銘柄に初選定

当社は2025年3月10日、経済産業省と東京証券取引所が選定する「健康経営銘柄2025」に初めて選定されました。
2018年より本格的に取組みを開始した健康経営、その理念や職場・従業員への健康推進活動が評価され、今回の
選定に至りました。「健康経営銘柄」は、東京証券取引所に上場をしている企業の中から、従業員の健康管理を経営的な視点で捉え、戦力的に取り組む企業の中でも特に優れた取組みを行っている企業を選定・表彰するものです。









◆ ◆ 仕入先の皆様と共に!健康経営推進 ◆ ◆

2025年9月24日の「仕入先連絡会」において61社の取引先の皆様に、「健康経営のススメ」として健康経営の取組み推進を行いました。

健康経営に初めて取組む場合の流れ、自社の課題を知るチェックシートの提供、今年改訂のあった 戦略マップフォーマットの作成方法、当社の「女性の健康課題の取組み方法から風土醸成に至るまで」 「人間ドック施策」の導入経緯から効果検証方法までを具体的にお伝えしました。

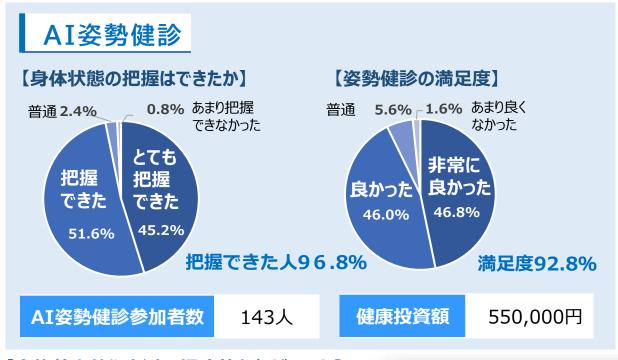
今後も、取引先の皆様と共に愛三グループも一体となり健康経営を推進致します。

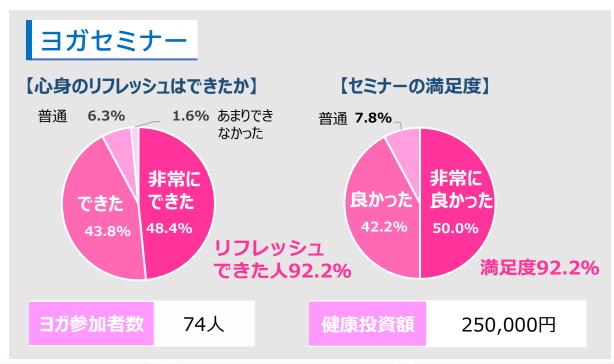


TOPIC.2 _____「女性の健康週間」セミナー実施

2025年3月

厚労省が制定した3月1日~3月8日「女性の健康週間」に合わせて、女性従業員へAI姿勢健診とヨガセミナーを実施しました。 身体のゆがみは、肩凝り・腰痛・関節痛・冷えやむくみ、月経痛などを引き起こす為、年代毎に健康課題のある女性の現状を 自ら把握することで、心身の健康増進を図るきっかけになりました。美姿勢でいつまでもキラキラ輝き活躍できる「私」を目指します。





【今後美姿勢や生活習慣改善を心がけるか】









社内保健師健康セミナー・Eラーニング

~2025年9月

社内保健師による健康セミナーは、厚労省の年間行事予定や従業員の要望 に合わせて内容を決定。就業時間内にオンラインと会場への参加を可能とし ており、参加しやすさを考慮し1回30~40分でセミナーを開催。社内HPには、 アーカイブと投影資料を掲載し、いつでも閲覧可能にしています。また保健 師作成の健康Eラーニングも随時配信し、約2,000名が毎回実施しています。





転倒予防効果のある 運動も参加者と実践しました!

セミナー 参加者

50~180人/回 +アーカイブ視聴者数

健康投資額

0円 (内製のため)

満足度

90.1% (16回平均)

骨密度測定会開催

2024年7月

7月の全国安全週間(厚労省)に合わせ、転倒による骨折等の労働災害防 止、高年齢労働者だけでなく若年期から骨折しにくい体をつくることを目的 に、骨密度測定会を今年度も実施しました。測定後には、社内保健師から 説明や指導を行い、同日には転倒予防セミナーも開催したことで、従業員 のヘルスリテラシーを高める良い機会となりました。



生産部門がより参加しやすいよう 休憩時間も測定を実施。互いの結果 を共有し合うなどコミュニケーション促進 にも繋がりました。

参加者数

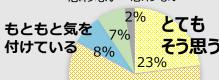
395名

健康投資額

約400,000円

【今後の生活習慣を改善しようと思ったか】

あまり 思わない 思わない

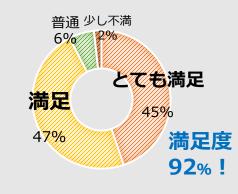


60%

そう思う

改善意欲あり 83%!

【骨密度測定会の満足度】



2024年10月1日~11月30日

2024年度の健康チャレンジ期間は、日頃の忙しい毎日からちょっと立ち止まり自分の心身の状態を確認し、自身を労う「自分を大切に!セルフケアチャレンジ」を実施。2か月後の自分をイメージしながら健康宣言し、目標に合わせたコースを各々が選択して取り組みました。期間中は、疲労医学がご専門の講師による健康チャレンジ講演会を2年連続で実施しています。

セルフケアチャレンジ

- 【目的】 頑張る自分を労い、心身の健康管理(セルフケア)を実施。 より良い毎日を送れる自分になる。
- 【方法】 自分の状態にあったコース・チャレンジ項目を選択し、目標達成を目指す。 【チャレンジコース】①疲労回復コース②メンタルケアコース③内臓労わりコース ④生活習慣整えますコース⑤ぐっすり快眠コース
- 【背景】 従業員アンケートでも休養やストレス・精神的疲れを感じている方が多い。 メンタル不全予防や高ストレス者の低減を目指す。



目標達成率: 79.9% 参加満足度: 47.1% 従業員参加率

58.8%

健康投資額

157,000円

【3GoodThingsの効果はあったか】



全参加者がメンタル ケア項目である (<u>3GoodThings</u>) を実践しました!

今日あった良いことを3つ思い出してから 寝る習慣をつけることで幸福度がアップする

健康チャレンジ講演会

3年連続で従業員から最も要望の

多かった「睡眠」講演会を2年連続

で開催。昨年度大変好評であり、

ニーズの高かった講師を再度お招きし、

快眠に加え疲労回復法に特化した



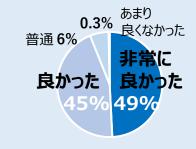
セルフケアチャレンジに繋げられる内容をオンラインのハイブリッド方式で実施。 終了後のアンケートでは、**96%が「自分にとって非常に役立つ・役立つ」**と 回答した。

参加人数

649名 435名(当日) 214名(1カ月アーカイブ)

健康投資額

約500,000円 (講師費用·他)



セミナー参加満足度:94%

健康管理数値とリスク者対応

		実績						
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度		
加洪李泰	男子	39.7%	38.7%	38.5%	38.2%	38.9%		
肥満者率	女子	18.5%	18.1%	20.4%	21.3%	18.0%		
脂質リスク者率		34.6%	33.3%	31.6%	29.5%	27.0%		
血圧リスク者率		13.0%	12.6%	14.3%	15.6%	13.6%		
血糖値リスク者率		9.8%	9.5%	9.4%	10.4%	10.4%		
ハイリスク者治療継続率						92.2%		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
特定保健指導 対象者率	17.5%	15.9%	15.4%	14.5%	13.9%	
特定保健指導 実施率	54.9%	80.6%	82.3%	88.2%	_ (集計中)	

- ・肥満:BMI25以上または腹囲基準:男子85cm以上・女子90cm以上
- ・脂質リスク: HDL39mg/dl以下、LDL140mg/dl以上、TG150mg/dl以上のいずれか
- ・血圧リスク: 収縮期140mmHg以上または拡張期90mmHg以上
- ・血糖値リスク: HbA1c6.3または空腹時血糖: 110 mg/dl以上

行動変容に関するKPI実績

	実績						
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度		
特定健診受診率	98.6%	98.4%	98.9%	99.3%	99.1%		
定期健診受診率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.8%		
人間ドック受診率	62.3%	66.9%	73.6%	76.4%	82.1%		
精密検査受診率 (2次検査)	92.3%	89.4%	89.1%	84.0%	82.7%		
ストレスチェック実施率	94.4%	93.8%	93.3%	94.7%	96.2%		
高ストレス者率	3.0%	3.5%	8.6%	8.1%	6.7%		

	実 績					
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
喫煙率	28.5%	26.1%	24.9%	24.0%	21.6%	
運動習慣者率	22.7%	24.6%	26.8%	27.4%	27.7%	
「睡眠により十分な休養 がとれている人」の割合	76.9%	74.2%	76.6%	73.7%	73.8%	

- ・2021年度より人間ドック受診対象者を40歳から35歳に拡大
- ・2022年度から高ストレス者評価基準を「愛三基準」から「厚生労働省基準」に変更。 同じ評価基準で比較すると高ストレス者率は減少している

--- ワークライフバランス管理数値

	実績				
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
残業80時間超延べ人数(管理職)	13人	14人	3人	6人	17名
残業45時間超延べ人数(組合員)	730人	901人	701人	816人	984名
平均年次有給休暇取得率	75%	88.0%	86.4%	91.2%	90.3%
平均年次有給休暇取得日数	15.7日	17.3日	17.0日	18.0日	16.7日
正社員の平均勤続年数(定着率)	19.4年	19.5年	19.5年	19.5年	18.7年

■ 従業員の健康状態管理数値

	実績						
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度		
休職者率メンタル(新規)	0.3%	0.4%	0.6%	0.6%	0.5%		
休職者率メンタル(再発)	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%		
。 	1.1%	1.0%	0.5%	0.6%	0.5%		
健康診断有所見者率	47.4%	53.0%	38.1%	35.9%	41.9%		

健康経営のアウトカム指標

	2022年度	2022年度	2004年度	2027年度日播	世			
	2022年度	2023年度	2024年度	2027年度目標	備考			
プレゼンティズム	17%	18%	17%	14%	SPQ(Single-Item Presnteeism Question東大1項目版)小数点第1位を四捨五入			
回答率•回答人数	54.8% 1,632人	65.1% 1,893.	人 58.6% 1,793人		版/介・数点分・回で四百五八			
アブセンティズム	平均1.3日	平均2.0日	平均1.4日	平均1.2日	傷病手当制度の一人当たりの利用平均日数・ 利用延べ日数を把握			
	(3,907日)	(6,158日)	(4,310日)					
利用件数•健保加入者年度平均人数	107件 3,037人	98件 3,092	人 100件 3,091人					
ワークエンゲージメント	50%	53%	52%	60%	自社独自のエンゲージメント調査で「活力・熱意・没頭」の記問とリアが肯定回答変を第出			
回答率•回答人数	97% 2,027人	94% 2,068	人 94% 2,115人		頭」の設問より平均肯定回答率を算出			
	2022年度	2023年度	2024年度	2027年度目標				
愛三の風土測定	66.7点	67.0点	67.7点	70点	ストレスチェックの上司・同僚支援の回答(6項目)を 使用。数値が高いほど良いとし、合計6~24点を 100点満点(25~100点)に換算し平均を算出。			
現在の愛三ヘルスリテラシー	CCHL尺度(5項	目) 平均位	直					
情報収集 18.12 情報の選択 情報の理解・伝達		情報収集 3.88		•5項目、5段階評価				
		3.76		「3.5~4.0未満」は「平均~やや高め」のヘルスリテラシーに該当する各項目のKPIは平均値4.0以上、合計値20以上を目指す				
		情報の理解・伝達 3.49		健康経営を本格的に取組み以来、健康セミナー・講演会・Eラーニング、毎週月曜日展開の朝礼				
右記5項目の平均値を合算したスコア	情報の信頼性判断	3.43	資料や健康ポスタ	資料や健康ポスターなどで様々な健康情報を展開している。				
	情報に基づく計画・行	-動 3.56	写俊も征兼貝目 り	今後も従業員自らが自身に必要な情報を収集・理解・活用できるよう継続した情報を展開予				

3.56

情報に基づく計画・行動